

## 執筆ガイド

- 1) 原稿は、本文及び図表を含めすべて電子データ形式とする。
- 2) 原稿は本文及び図表、文献を含め、研究論文は16,000字、研究ノートは12,000字、実践報告は8,000字以内とする。英文の場合はそれぞれ8,000ワード、6,000ワード、4,000ワードとする。和文中の半角英数字は2字を文字数制限における1字に換算する。
- 3) 図表はその大きさによって、1/4ページで500字、1/2ページで1,000字、1ページで2,000字と換算する。英文の場合それぞれ、250ワード、500ワード、1,000ワードと換算する。
- 4) A4サイズに、横書き40字×25行として作成する。数字およびアルファベットは原則として半角とする。英文の場合はレターサイズにダブルスペースとして作成する。  
なお、この書式から大きく逸脱し、または制限字数を大幅に超過する場合は返却することがある。
- 5) 表題、著者名、所属機関名は日本語と英語で表記する。
- 6) 抄録は、目的・方法・結果・結論の項目を付けた構造抄録とし、和文と英文で作成すること。字数は和文400字以内ならびに英文200ワード以内とする。さらにそれぞれに5語前後のキーワードを付す。和文要約では、半角英数字は2字を文字数制限における1字に換算する。
- 7) 原稿は日本語か英語とする。英語の場合、日本語抄録は不要とする。
- 8) 原稿は、目的、方法、結果、考察、結論などがわかるように記載する。
- 9) 新仮名遣いを用い、できるだけ簡潔に記述する。誤字やあて字が多く、日本文として理解が困難な場合や、文法上の誤りなどで英文として理解が困難な場合は返却することがある。
- 10) 投稿原稿の内容が倫理的配慮を必要とする場合は、必ず原稿中に倫理的配慮について明記する。ヒトを対象とした研究は研究倫理委員会の承認を受けていることを原則とする（承認番号を明記する）。研究倫理審査を必要としない場合はその理由を明記する。
- 11) COIを明記すること。当該研究遂行や論文作成に際して、企業・団体等から研究費助成、便宜供与などの経済的支援を受けた場合は、謝辞等にその旨を記載する。また、COIチェックリストにも記載する

### 12) 文献の記載様式

文献は本文の引用箇所の肩に 1), 1~5), 1,3~5)などの番号で示し、本文の最後一括して引用番号順に記載する。文献の著者が3人までは全員、4人以上の場合は3人までを挙げ、4人目以降は省略して、3人の著者名+『、他.』とする。英文の文献で著者が4人以上の場合は、3人の著者名+『、et al.』とする。

雑誌名は正式名称を使用し、略名を用いないこととする。

記載方法は下記の例に従う。

#### ○ 雑誌の場合

著者名. 表題. 雑誌名. 発行年(西暦) x 巻(号)xx頁-xx頁.

(例) Tsuchiya N, Nakaya N, Nakamura T, et al. Impact of social capital on psychological distress and interaction with house destruction and displacement after the Great East Japan Earthquake of 2011. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*. 2017 Jan;71(1):52-60.

○ 単行本の場合

著者名．表題．編者名．書名．発行所所在地：発行所．発行年（西暦）xx 頁-xx 頁．

（例）河口 洋行（著）．2 章医療サービスと自由競争．医療の経済学第 3 版．東京：日本評論社．  
2015 41-55．

原則として，特殊な報告書，投稿中原稿，私信などで一般的に入手不可能な資料は文献としての引用を差し控える。

○ インターネットの WEB サイトの場合，

作成者(分かれば)、サイト名とアドレスを簡潔かつ明確に記載するとともに，アクセスした年月日も付記すること。WEB 掲載のデータは削除される可能性があるので，引用する場合は必ずコピーを保管すること。

（例）厚生労働省．「第六次看護職員需給見通しに関する検討会」報告書．  
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2005/12/s1226-5.html>．アクセス日 2017.2.28

13) 投稿前に投稿論文チェックリストに沿って自己点検を行ってください。